

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



電気設備点検ボランティア
小林地区電気工業協同組合が
高齢者住宅の電気設備を点検



ブレーカーを点検する組員。同日野尻地区では、通学路の街路灯の無料点検も行われました。

9月5日、小林地区電気工事協同組合が市内の高齢者宅8件の電気設備をボランティアで点検しました。電気使用安全月間の一環として電気災害防止を目的に実施。同組員15事業所が、電球の交換やブレーカーの点検などを行いました。同組合の迫文男理事は、「コンセントのほこりからの電気事故が多くなっている。少しでも事故が減ってくればうれしい」と話していました。



外部評価委員会
市民目線で事業を評価
外部評価委員会を開催

市の事業に対し外部の視点から意見をもたらし外部評価委員会が開催されています。第1回の会議は9月1日に行われ、「水資源保全対策事業」と「生き生き国保推進事業」について評価。山之口志朗委員長は「事業を市民目線で評価し、市と一緒に行政の効率化を図りたい」と話していました。評価結果は市長に報告し、行政運営の改善や予算編成などに反映していきます。



11月7日まで5回の会議が開催予定。傍聴もできるので、詳しくは企画政策課 (Tel 23-0456) まで

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林中学校区

市内初。“きずな協働体”として市の業務を受託

西小林中学校区きずな協働体「にっこばまちづくり協議会」は、昨年6月に設立し、さまざまな取り組みを行ってきました。そして、今年度初めて市の業務を受託。国の天然記念物エヒメアヤメが自生する「勸請岡地区エヒメアヤメ自生地」の草刈

り業務を請け負うことになりました。8月17日には、1回目となる草刈りを実施。地区住民約20人が集合しました。まちづくり協議会が市の業務を受託する受け皿となり、また自主財源を確保する方策として、さらにさまざまな業務に挑戦していきます。



勸請岡地区で行った第1回目の草刈り

にっこばまちづくり協議会
きじまけんたろう
貴嶋憲太郎会長

今年も「にっこば伝統・文化カレンダー」を作製中です。住民力を合わせてまちづくりを盛り上げていきます！



協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

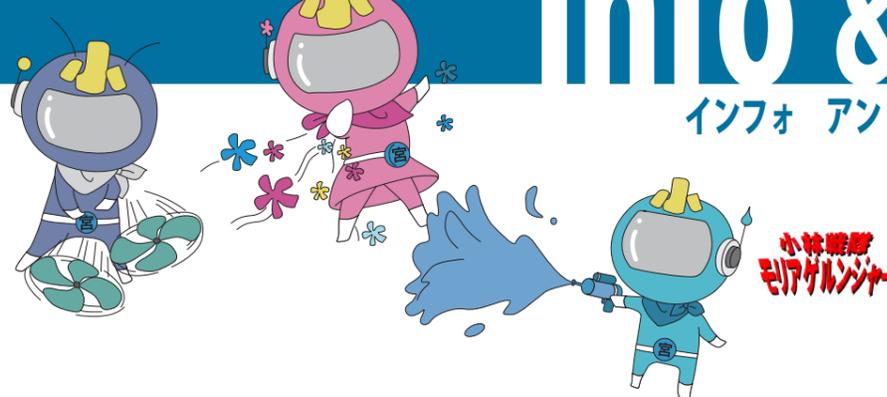


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが(当時・永久津中3年生)小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、虫)がモチーフになっています。



水道
水道事業水道料金審議会が
水道事業の経営改善を答申



肥後市長は「皆さんの意見を参考にし、安心・安全な水の提供をしていきます」と話していました

小林市水道事業水道料金審議会は、8月28日、水道料金に関する答申書を市長に提出しました。今回の答申で、水道事業会計の経営改善と旧小林と須木・野尻地区との負担の公平性を図るため、平成27年4月から上水道と簡易水道の料金を一本化した後、14年ぶりに平均20%上げるよう答申。種子田興市長は「料金改定後、耐震化や漏水対策などを計画的に行い、安心・安全な水を提供してほしい」と話していました。



防災
後川内区で防災訓練開催
地区で協力できる体制つくる

後川内区の防災訓練が、8月24日、平川地区コミュニティセンターで行われました。地区の住民、消防署、消防団や防災士など約200人が参加。消防車両の見学、心配蘇生法の講習、ロープワークや放水体験などをおして防災について学習しました。同区の小久保信雄区長は、「今年から地区の夏祭りの代わりに防災訓練を実施しました。関心が高く、多くの参加をいただいた。継続し、地区の防災力を高めたい」と話していました。



心臓マッサージを学ぶ参加者。いざというときのために、地域で協力できる体制を築きました